

ホタル（ヒメボタル）観察会

(波川公民館、いの町子ども会連合会、いの町観光協会、伊野ライオンズクラブ主催)

令和7年5月25日（日）、いの町仁淀川橋上流の波川木漏れ日公園で「ホタル（ヒメボタル）観察会」が開催されました。

前日の雨もすっかり上がり、さわやかな風が吹く中、ヒメボタルに出会うべく、小さなお子さんから大人まで幅広い年齢層の参加者が訪れました。

「ヒメボタル」とは、別名「森のホタル」とも呼ばれる小さなホタルで、その全長は6～9mmほど。オスは光りながら飛び交い、メスは後翅（こうし）と呼ばれる内側の翅（はね）が退化して飛ぶことができないため、地上で静かに光ってオスを待ちます。この特性から、草木の中で小さな点滅する光がまるで星のように輝き、参加者たちを魅了していました。

一方で、ホタルの観察にはいくつか注意点もあります。

ホタルの卵や幼虫は足元の草むらなどにいるため、車で乗り入れることは厳禁です。また、ホタル観察の際は、ホタルたちが暮らす場所に私たち人間がそっと訪れさせてもらっている状態ですので、大きな声を出したり、不必要に草木を踏み荒らしたりしないよう心がけることが大切です。

夜の静寂の中、闇夜に浮かび上がるヒメボタルの光は、自然の美しさを改めて感じさせてくれるものでした。この観察会を通して、多くの方が自然との共生について考えるきっかけを得たことと思います。ホタルたちが安心して暮らせる環境を守るためには、私たち一人ひとりの配慮が欠かせません。

来年もまた、この美しい光景に出会えることを願って。

ホタルたちが安心して暮らせるように、できることをみんな考えていきましょう！

